令和８年度前期

かな・教育部昇段試験規定　　（締切６月５日）

区別	師範	教範	六段	三段	特級	教育部	師範以上
課題型式	①◆和歌一首（条幅半切・縦書） ②◆俳句一句（条幅半切１／２・縦書き） ③◆臨書　関戸本古今集（料紙に原寸大に書き、半紙に添付する）　合計　３枚	①◆和歌一首（条幅半切・縦書） ②◆和歌一首（料紙半懐紙・横使用・縦書き） ③◆臨書　関戸本古今集（料紙に原寸大に書き、半紙に添付する）　合計　３枚	①◆和歌一首（条幅半切・縦書） ②◆臨書　寸松庵色紙（料紙に原寸大に書き、半紙に添付する）　合計　２枚	①◆和歌一首（半紙判・縦書） ②◆臨書　寸松庵色紙（料紙に原寸大に書き、半紙に添付する）　合計　２枚	◆俳句一句（半紙判・縦書）　１枚	◆半紙	◆和歌一種　臨書 元永本古今集巻一八
課題文字	○よそにのみ見つつ恋ひなむ紅の末摘む花の色に出でずとも（万葉集１９９３　作者不明） ○ひらひらとあぐる扇や雲の峰　（笈日記　松尾芭蕉） ○つきのおもしろかりける夜～　（古今集１６６）	○師範試験課題①に同じ ○ほととぎす鳴きつる方をながむればただ有明の月ぞ残れる（百人一首８１　後徳大寺左大臣） ○師範試験課題③に同じ	○師範試験課題①に同じ ○つらゆき　よしのがはきしのやまぶきふくかぜにそこのかげさへうつろひにけり（古今集１２４　紀貫之）	○くれなゐの八重てり匂ふ玉はすの花びら動き風わたるかも　（佐藤左千夫） ○六段試験課題②に同じ	○石も木も眼にひかるあつさかな　（向井去来）	○五月号手本による	○なよたけのよながきうへにはつしものおきゐてものをおもふころかな　（古今集９９３藤原忠房） 原本は三行に書かれていますが、条幅に二行で書いてください。
受験料	6000 円	5000 円	4000 円	3000 円	2500 円	500 円	
揮毫者							